

毛猛山塊 津久ノ岐山～鼓ヶ倉山

棚橋

【日時】 2013年4月20日(土)

【メンバー】L佐貫 棚橋 松本

当初は檜岳を目指す計画であったが、土曜夜からの天気の悪化が日曜の午前中まで残りそうなので、土曜日帰りにて本計画に変更とした。松本さんは以前、鼓ヶ倉山を目指したことがあるとのことであった。

4月20日 晴れ

前泊地より、越後駒に向かうトマの風スキーチームに続いてシルバーラインに向かう。シルバーライン11号トンネル手前の転回場の隅に駐車させて頂き、準備を整える。当初はトンネル手前のヘアピンカーブの所からの尾根を登っても良いかなと考えていた。しかし下部が急に感じられたので1本右側の尾根を、トンネル入口の右側より取付くことにする。

尾根には鉈目が目立ち、ピンクのテープも所々付けられている。津久ノ岐山は結構登られている山なのであろうか。下部は尾根が細いので雪も落ちてしまっており藪も大分出ているが、踏み跡らしきがあるのでそれを辿り進む。登につれ尾根も広がり、残雪も使えるようになってくるとスピードもアップする。そして稜線まで登ると毛猛の山々が顔を見せる。そこから津久ノ岐山までも雪はあまり多くなく、半分位は登山道を歩いているようだ。ここまでの踏み跡は、境界杭を付けるためのものようだ。

津久ノ岐山では鼓ヶ倉山を始め檜岳や毛猛山、権現堂山の連なり、魚沼の山々に出迎えられる。しかし越後駒などはガスに覆われている。しかし残念なことに佐貫が膝の調子が今一とのことで、大事を取って一人引き返すこととなった。

ここからは残雪もやや多くなり、



毛猛の山々に出迎えられる

キックステップにて先に進む。しかし痩せている所では相変わらず残雪が拾えず何箇所か藪を漕いだりしていたが、雪が細く不安定に残っている箇所にて、いよいよアイゼンを着ける。そして右側面の雪の斜面をトラバースして回避する。遠目にブロックが不安定に残っているように見えた箇所も、何とか危険なことなく通過できた。

急な所も雪が安定していたのでアイゼンで難なく登れたが、団子に成り易くなってきたので下りは要注意だ。そこを登り切り、奥に見える一番高い所を目指す鼓ヶ倉山山頂へと着く。雪が消えかけた所に新旧二つの三角点があった。ここでも展望を楽しみながら小休止、本当に良い天気となった。

下りは往路を忠実に辿る。日差しは強かったが気温が低めだったこともあり、行きの際に帰りでは要注意と思った箇所も問題なく下りることができた。津久ノ岐山にて小休止した後、行きと同じ箇所から支尾根を下降する。行きとほぼ同じ所を通ったが、進むにつれ藪が濃く感じられた。登りでは踏み跡を辿ることに集中していたので、それほど気にならなかったが結構頑張ったのだな。天気も良い内に駐車地点へと戻ることができた。



雪ところどころ藪



魚沼の山々を背に

本当に展望の良い所だった。厳冬期に鼓ヶ倉山まで行こうとなるとそれなりに大変そうだ。檜岳には行けなかったがこも毛猛、次回は是非とも登ってみたい。

【行程】 4/20 トンネル入口 (7:00)～稜線 (7:48/59)～津久ノ岐山 (8:19/34)～鼓ヶ倉山 (10:30/56)～津久ノ岐山 (12:20/36)～稜線 (12:52)～トンネル入口 (13:18)

【地図】 大湯、未丈ヶ岳